２０２６年度　事業計画書

２０２６年度に策定した「中期経営計画2026-2030」において設定した目標指標（ＫＧＩ）の達成に向け、各施策の進捗を定量的に確認するための評価指標（ＫＰＩ）を定め、各ＫＰＩは、単年度の事業計画に展開し、所管部署・測定方法・評価時点を明確にした上で年度ごとに達成状況を確認し、事業報告書で共有します。

目標指標（ＫＧＩ）

基本金組入前当年度収支差額（償却前）の黒字化

成功要因（ＣＳＦ）

（1）新たな時代の学びや、本学ならではの価値を創出する

◆大学・大学院

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
教育価値	**卒業生の成長実感度** **主な取り組み内容** ・安心して自己実現できる環境の整備 ・新たなカリキュラムの検討 ・キャリア形成支援プログラムの体系化 ・卒業生ﾈｯﾄﾜｰｸの強化と卒業生との密な交流 ・大学院進学・研究者育成支援	2030年度／年次確認	魅力的なカリキュラム創設に向けた調査と設計を開始する。 卒業生アンケートと在籍調査を継続的に実施する。併せて卒業生との交流機会の導入を行い、学生の成長実感の可視化に向けた基盤構築を進める。	卒業年次アンケート 90%以上	教務委員会＋教務課、キャリア教育委員会＋キャリアセンター＋各学部・研究科
教育価値	**リベラルアーツ教育による成長実感度** **主な取り組み内容** ・文理融合・学際領域教育の推進 ・PBL型教育の拡充 ・社会課題解決型PBLの導入	2030年度／年次確認	分野横断型カリキュラムの設計および試行導入を行う。文理融合教育の枠組みを整備し、統合的学修環境の構築に向けた基盤形成を推進する。	卒業年次アンケート 80%以上	学長室（将来計画委員会）
研究	**競争的資金・外部資金申請教員数** **主な取り組み内容** ・分野横断的・学際的な研究の推進 ・競争的資金・外部資金申請教員数の底上げ	2030年度／年次確認	外部資金申請支援の仕組み整備と周知を開始する。学際的研究の萌芽形成を支援しつつ、申請意識の醸成と初期的な件数増加を図る。	外部資金申請件数および獲得件数 前年比増	研究所委員会＋研究所
研究	**新しい学内研究支援制度の立ち上げ** **主な取り組み内容** ・学部・学科横断的な研究を対象とする制度の創出 ・若手研究者支援制度の立ち上げ	2030年度／年次確認	研究環境の現状分析とニーズ把握を実施する。その結果を踏まえ、新たな研究支援制度の設計および試行導入に着手し、制度基盤の整備を進める。	制度整備状況 計画の20%推進	研究所委員会＋研究所
国際化	**海外留学・研修プログラム参加学生数** **主な取り組み内容** ・多様な海外プログラムの拡充 ・グローバルリーダー育成を目的とした短期留学プログラムの開発 ・協定大学との交流促進	2030年度／年次確認	既存プログラムの見直しと新規短期プログラムの企画・試行を行う。参加者増加に向けた広報および制度整備を進め、拡大に向けた基盤を構築する。	海外留学参加学生 前年比増	国際交流センター運営委員会＋国際交流センター
国際化	**外国人留学生受入数** **主な取り組み内容** ・外国人留学生の積極的受け入れと支援 ・日本語教育プログラムの充実 ・多文化共生イベントの定期開催	2030年度／年次確認	留学生向け入試制度の運用開始および募集活動を強化する。受入拡大に向けた初期体制を整備する。 多文化共生イベントを定期的に実施する。	学部留学生 前年比増	入試委員会＋入学センター

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
国際化	**海外協定校・関係団体数** **主な取り組み内容** ・協定大学との交流促進 ・学生の派遣・受け入れ ・研究者間の交流促進 ・ユニット型留学制度の検討	2030年度	新規協定候補の選定と交渉を開始する。協定締結のプロセスを確立するとともに、初期段階の連携事業の試行を通じて関係構築を進める。	協定校一覧 1団体追加	国際交流センター運営委員会 ＋国際交流センター
地　域・ 社会連携	**地域連携プロジェクト数** **主な取り組み内容** ・地域課題解決型プロジェクトの推進 ・学生が地域住民と協働する機会の創出	2030年度／ 年次確認	各学部・学科が主体となり、自治体・企業等との連携スキームを構築する。小規模プロジェクトの試行を通じ、地域連携活動の実施体制と展開モデルを整備する。	地域連携実績 メディアへの露出回数 前年比4%増	各学部・学科
地　域・ 社会連携	**公開講座・リカレント教育受講者数** **主な取り組み内容** ・リカレントおよびリスキリング教育・社会人向け講座の拡充	2030年度／ 年次確認	公開講座・講演会の体系化に向けた企画設計を行うと共に、継続的展開に向けた基盤を整備する。	講座受講者データ 前年比4%増	関係委員会
地　域・ 社会連携	**自治体・企業との共同研究数** **主な取り組み内容** ・産学連携の強化 ・地元企業との共同研究や共同開発 ・大学の研究成果を社会実装	2030年度／ 年次確認	共同研究案件の発掘とマッチング機能の整備を進める。初期的な共同研究の立ち上げと実績形成を通じ、産官学連携の基盤構築を図る。	共同研究実績 前年比2%増	研究所＋各学部・研究科
学生体験価値	**学生生活満足度** **主な取り組み内容** ・快適で魅力的なキャンパス環境の整備 ・多様な課外活動の支援	2030年度／ 年次確認	学修環境の現状把握と改善方針の策定を行う。安心して学べる空間整備の優先施策を段階的に実施し、満足度向上に向けた基盤を構築する。	学生調査 卒業年次アンケート 90%以上	学生主事会＋学生生活支援センター、図書館委員会＋図書館、施設課
学生体験価値	**卒業生の就職率** **主な取り組み内容** ・キャリア形成支援プログラムの体系化 ・学生のインターンシップ先の拡大 ・卒業生ネットワークの強化	2030年度／ 年次確認	キャリア形成支援プログラムの設計および試行導入を行う。 卒業生アンケートと在籍調査を継続的に実施する。併せて卒業生との交流機会を設け、学生が卒業後の進路や生き方を含めた「キャリア」について自分事として考える機会を設ける。	就職率 98%以上	キャリア教育委員会＋キャリアセンター
学生体験価値	**キャンパス・校舎利用満足度** **主な取り組み内容** ・学習スペース・食堂・カフェテリア等の改善・拡充 ・ICT環境の高速化と安定化 ・自然豊かなキャンパスの美化と維持管理	2030年度／ 年次確認	施設利用状況の分析と改善計画の策定を行う。優先度の高い環境改善を段階的に実施し、利用満足度向上の基盤を整備する。 ICT設備・視聴覚設備の更新計画を立てる。計画に応じて必要とされるICT設備・視聴覚設備の整備を行う。	卒業年次アンケート等 90%以上	学生主事会＋学生生活支援C、大学情報処理C運営委員会＋情報処理C＋授業サポート室、施設課

◆中学部・高等学部

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
教育課程	**6年間を見通したカリキュラムマップ** **実施内容** ・各教科における到達目標の整理 ・主体的な学びを重視した授業内容の検証 ・カリキュラム・ポリシーの可視化 ・在校生・保護者・受験生への発信	2028年度末	教員研修会での議論を土台として、各教科でカリキュラムの見直しと検討を実施する。教科主任会で各教科のカリキュラム案を共有する。在校生、保護者、受験生に提示できる形に整え、発信する。	全教科で策定・公開。	中高部

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
教育課程	**授業内容が充実している肯定的回答** **実施内容** ・各教科における到達目標の整理 ・主体的な学びを重視した授業内容の検証	2028年度末	各教科で、学年ごと、学期ごとの授業内容を相互点検を行う。 カリキュラムマップの検証、改訂も随時実施する。 教員対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
教育課程	**授業を通した学力向上実感** **実施内容** ・主体的な学びを重視した授業内容の検証 ・カリキュラム・ポリシーの可視化	2028年度末	生徒に対して授業進度と内容を具体的に提示し、学習計画を理解させる。 課題の意義についても説明し、主体的に取り組めるように促す。 生徒対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
キャリア教育	**キャリア教育プログラム実施回数** **実施内容** ・卒業生講演会・キャリア講座の実施 ・大学・社会との接続を意識したプログラム整備 ・探究活動との連携	2028年度末 ／年次確認	生徒が幅広い視野でキャリアを考えることができるように、様々な分野で活躍する講師を招くプログラムを実施する。 講演会は年に2回、礼拝は年に3回以上、有志の生徒が参加する企画は2回以上実施する。	年2回	中高部
キャリア教育	**将来について考える機会がある肯定的回答** **実施内容** ・卒業生講演会・キャリア講座の実施 ・大学・社会との接続を意識したプログラム整備 ・探究活動との連携	2028年度末	生徒が幅広い視野でキャリアを考えることができるように、様々な分野で活躍する講師を招くプログラムを実施する。 講演会は年に2回、礼拝は年に3回以上、有志の生徒が参加する企画は2回以上実施する。 生徒対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
生徒支援	**支援に関する校内研修** **実施内容** ・校内支援体制の整理 ・スクールカウンセラー等との連携強化 ・教員研修の実施 ・保護者との連携体制の構築	2028年度末 ／年次確認	生徒支援室の運用について、教職員で確認し、ガイドラインを策定する。 実際の運用に照らして、ガイドラインを検証する。 支援体制について、教職員、生徒、保護者への周知を図る。 教職員対象の研修会を実施し、支援体制を検証する。 教員対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
生徒支援	**カウンセリング体制満足度** **実施内容** ・スクールカウンセラー等との連携強化 ・保護者との連携体制の構築	2028年度末	生徒支援室の運用について、教職員で確認し、ガイドラインを策定する。 実際の運用に照らして、ガイドラインを検証する。 支援体制について、教職員、生徒、保護者への周知を図る。 教職員対象の研修会を実施し、支援体制を検証する。	年1回	中高部
ICT教育	**ICTを活用した授業** **実施内容** ・ICT機器・ネットワーク環境の整備 ・ICTを活用した授業実践の推進 ・教員研修の充実	2028年度末	ICT機器、ネットワーク環境の整備、検証を随時実施する。 各教科においてICT機器を活用した授業について研修し、実施する。 教科間、教員間で実施例の共有を図る。	年1回	中高部
ICT教育	**ICT活用に関する教員研修** **実施内容** ・教員研修の充実	2028年度末 ／年次確認	ICT活用についての研修や情報共有を実施する。 授業での活用案に加えて、情報管理の観点からの研修も行う。 教員対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
ICT教育	**ICT活用授業が学習に役立つ肯定的回答** **実施内容** ・ICTを活用した授業実践の推進 ・ICT機器・ネットワーク環境の整備	2028年度末	ICTを用いた参加型の授業を推進し、学習意欲の向上を図る。 生徒対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
キャンパス整備	**空調・校舎外周整備** **実施内容** ・空調システム整備 ・校舎外周整備	2028年度末	空調、校舎外周の環境整備を実施する。 施設、設備の点検を実施し、よりよい学習環境の実現を図る。 特に空調システムについては重点項目として点検、整備を実施する。	年1回	中高部

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
キャンパス整備	**学習環境満足度** **実施内容** ・空調システム整備 ・校舎外周整備	2028年度末	空調、校舎外周の環境整備を実施する。 施設、設備の点検を実施し、よりよい学習環境の実現を図る。 特に空調システムについては重点項目として点検、整備を実施する。	年1回	中高部
課外活動	**クラブ活動方針** **実施内容** ・クラブ活動の運営体制見直し ・課外活動の教育効果検証 ・安全計画の点検	2028年度末	クラブの活動状況と活動内容を見直し、安全計画を点検、整備する。	年間を通して検証する。	中高部
課外活動	**クラブ活動が充実している肯定的回答** **実施内容** ・クラブ活動の運営体制見直し ・課外活動の教育効果検証	2028年度末	クラブの活動状況と活動内容を見直し、教育の一環としての意義を検証する。クラブ活動を学校でも担っていく意義を教職員研修などの機会を通して確認する。 生徒対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部
課外活動	**課外活動運営負担が適切である肯定的回答** **実施内容** ・クラブ活動の運営体制見直し ・教員負担軽減の検討	2028年度末	クラブの活動状況や顧問の割り当てについての見直しを実施すると共に、学外指導員の受け入れを促進することで教員の負担軽減を図る。 教員対象のアンケートを実施する。	年1回	中高部

◆法人横断テーマ・財務・施設設備等

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
施設･設備	**スクールバス導入** **主な取り組み内容** ・スクールバス導入	2027年度／2028年度	JR西宮駅にバス乗り場を整備する。（学外工事） 西門道路の拡幅及び勾配調整工事、及び、小林季子記念館前の学内バス乗り場の整備を実施する。	2027年4月よりスクールバスが運行できる基盤を整える。	施設課
施設･設備	**学食リニューアル** **主な取り組み内容** ・学食の完全リニューアル	2027年度	食堂1・2階の内装をリニューアルする。学生から要望の多い1人席や2人席を増やすとともに、新たに小上がりスペースを設け、学生がゆっくりと過ごせる快適な空間を整備する。	2027年4月よりリニューアルされた食堂を運営する。	施設課
施設･設備	**学食利用者数の増加** **主な取り組み内容** ・学生・教職員の利用率向上による収支改善	2027年度	各種取り組みにより、新社交館食堂の来客数を2025年度比150%にする。	2025年度比150%	総務人事課

（２）本学の価値が社会に浸透し、共感を得てブランド・イメージが確立する

◆法人横断テーマ・財務・施設設備等

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
ブランディング	**学院全体のブランド統括部署** **主な取り組み内容** ・学院広報の責任体制の明確化	2027年度末	理事長指名による学院ブランディング広報委員会を設置する。	計画達成率100%	総務人事課

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
ブランディング	**部局別広報の役割分担・意思決定フロー** **主な取り組み内容** ・学院広報の責任体制の明確化	2028年度末	学院ブランディング広報委員会に作業部会を設置し、部局別広報の役割分担・意思決定フローを検討する。	計画達成率 80%	総務人事課
ブランディング	**重要広報物の事前承認制度** **主な取り組み内容** ・学院広報の責任体制の明確化	稼働後年次確認	学院ブランディング広報委員会及び作業部会にて、重要広報物の定義付を行った上、それらにかかる事前承認制度を構築する。	計画達成率 50%	総務人事課
ブランディング	**ブランド・キット** **主な取り組み内容** ・各種広告制作物のルール集（ブランド・キット）の策定	2028年度末	学院ブランディング広報委員会及び作業部会にて、各種広告制作物のルール集（ブランドキット）を策定する。	計画達成率 50%	総務人事課
ブランディング	**Web・紙媒体別制作ガイドライン利用率** **主な取り組み内容** ・各種広告制作物のルール集（ブランド・キット）の策定	稼働後年次確認	学院ブランディング広報委員会及び作業部会にて、Web・紙媒体別制作ガイドラインを策定する。	計画達成率 50%	総務人事課
ブランディング	**制作物・素材管理基盤** **主な取り組み内容** ・各種広告制作物の管理・集約	2028年度末	法人及び各部局にて製作物・素材管理基盤を構築する。	計画達成率 50%	総務人事課
ブランディング	**制作物登録率** **主な取り組み内容** ・各種広告制作物の管理・集約	稼働後年次確認	法人及び各部局にて製作物・素材管理基盤を構築する。	計画達成率 50%	総務人事課
ブランディング	**制作履歴・評価レビュー** **主な取り組み内容** ・制作履歴と評価を蓄積し改善サイクルを確立する	稼働後年次確認	学院ブランディング広報委員会及び作業部会にて、制作履歴及び評価の蓄積システムを構築する。	計画達成率 50%	総務人事課
ブランディング	**ブランド方針の説明機会** **主な取り組み内容** ・ブランドアイデンティティの構築過程を可能な限り可視化する	2028年度末	学院ブランディング広報委員会及び作業部会におけるブランドアイデンティティの構築過程を可能な範囲で公表する。	計画達成率 50%	総務人事課

（３）組織・人事制度の見直しにより、業務と人員の効率化を図る

◆法人横断テーマ・財務・施設設備等

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
組織･人事	**ミッションステートメント** **主な取り組み内容** ・教職員のエンゲージメント向上 ・教職員の行動規範、倫理規定の制定	2026年度末	・ミッションステートの確定。 ・上記の学院内への周知及び学院外への公表。	計画達成率 100%	総務人事課
組織･人事	**キャリア自律支援制度** **主な取り組み内容** ・キャリア自律のための支援制度の確立	2028年度末 ／2029年度	・制度検討のための各種情報収集を実施。	計画達成率 10%	総務人事課
組織･人事	**教職員提案制度** **主な取り組み内容** ・教職員のアイデアを活かすための取り組み	2027年度末	・教職員提案制度の枠組み等を検討。 ・教職員から提案を求める具体的な施策を選定。	計画達成率 70%	総務人事課

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
組織･人事	**ハラスメント教育・研修体系** **主な取り組み内容** ・ハラスメントがない組織を目指して教育訓練制度の構築	2028年度末	・ハラスメント防止のための研修体系の検討。 ・試行的に研修を実施。	計画達成率 50%	総務人事課
組織･人事	**事務組織統合案・職員定数案** **主な取り組み内容** ・組織体制の改革 ・事務組織の統合 ・部署別の適切な職員構成のあり方 ・職位の整理	2028年度上期／2029年度	・現行の組織体制等に対する評価の実施。 ・改革に向けた考え方の整理。 ・各種改革案の立案と検討。	計画達成率 30%	総務人事課
組織･人事	**働き方の改革** **主な取り組み内容** ・部署統合による重複業務の解消と下記DXによる業務改革 ・外部委託の活用 ・他校との業務共同化の検討	2026年度末	・外部委託を行う具体的な業務の選定と委託に向けた進め方の決定。 ・他法人との業務共同化の可否、及び可能な場合の具体的な提携先の検討。	計画達成率 100%	総務人事課
D　X	**DXパイロット施策の対象部署・業務** **主な取り組み内容** ・パイロット施策の実施	2026年度末／2027年度	・DX施策を実施する部署及び業務の選定。 ・DXに利用する各種ツールの選定。	計画達成率 80%	総務人事課
D　X	**DXパイロット施策の検証・横展開計画** **主な取り組み内容** ・パイロット施策の検証と学院内への横展開	2028年度末	・施策の学院内への横展開の進め方等を検討。	計画達成率 10%	総務人事課
D　X	**デジタル技術活用に向けた啓発活動** **主な取り組み内容** ・学院内への啓発活動	2027年度以降年次確認	・啓発活動実施に向けた具体的な施策の検討。	計画達成率 70%	総務人事課

（4）健全なキャッシュフローと将来の発展の為の資金確保を実現する

◆法人横断テーマ・財務・施設設備等

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
財　務	**学生生徒納付金収入獲得に向けた具体施策** **主な取り組み内容** ・入学者数・学生数	年次確認	中期経営計画2026-2030財務シミュレーションに記載する入学者数および学生数を確保する。	（2027年度） 入学者数：566人 学生数：2092人	－
財　務	**寄付金獲得に向けた具体施策** **主な取り組み内容** ・本学への支援意識を高めてもらう取り組み ・ステークホルダーとの関係強化	2026年度末	創立150周年記念募金終了後の寄付金獲得に向けた具体的な施策を検討し、案を決定。	計画達成率 100%	総務人事課
財　務	**受取利息・配当金収入** **主な取り組み内容** ・資金運用収入	2028年度決算	中期経営計画2026-2030財務シミュレーションに記載する受取利息・配当金収入を確保する。	150百万円	総合企画室
財　務	**補助活動収入・その他収入の具体施策** **主な取り組み内容** ・補助活動収入、その他の収入	2026年度末	補助活動に係る学生寮の今後の運営について、検討を開始する。	2026年度中に検討を開始する。	－

策定に当たっての留意点	・事業計画は、事業報告において達成状況を確認することが前提となるため、定量評価できる施策の計画を原則とする。 但し、定量指標で測定しにくい施策は、実施有無・整備完了・利用率・満足度等の代替指標を設定する。 ・年度評価（事業報告書作成時）は、達成率に応じて以下の３段階で評価する。 ［達　　成］計画値を達成、または計画通り整備・実施済 ［概ね達成］計画値の80%以上、または主要工程が完了 ［未 達 成］計画値の80%未満、または主要工程に遅延

領　域	中期経営計画　ＫＰＩ／取り組み題目	評価時点	2026年度事業計画（最大200文字）／具体的施策	計画値	所管部署
財　　務	**物品・役務調達の費用低減支援** **主な取り組み内容** ・物品や役務調達の費用低減への取組み	年次確認	一定金額以上の取引について相見積の励行等を通じ教職員のコスト意識向上を図る。また大口の取引においてはコストカットコンサルの利用等を通じ各部署の費用逓減を図る。	特別予算について申請金額の70%の設定を目指す。	財務課
財　　務	**業務委託費（臨時・委託職員）支出削減** **主な取り組み内容** ・法人、大学を一元化した事務の集中化 ・清掃・作業・警備 等	2026年度以降年次確認	清掃・作業・警備の各業務内容を洗い出し、精査した上で、必要な人員及び作業時間を削減する計画を立てる。	2027年度の各種業務委託は削減内容で契約する。	総務人事課 施設課
財　　務	**財務説明会** **主な取り組み内容** ・財務説明会の実施	2026年度下期	学院の財政状況について全教職員が正しく理解するため、財務説明会を実施する（大学教員、中高教員、職員それぞれを対象に開催予定）。	3回開催	財務課